



てん だいどころ 天の台所

おちあい ゆ か とうだんしゃ
落合由佳作 講談社

去年の冬、おれはお父さんと弟、妹の四大家族になった。いつもおいしい料理を作ってくれたばあちゃんが、突然亡くなったからだ。洗濯とかそうじとか毎日ばったばたで、夕飯は買ってきたお弁当やおそうざいばかり。ある日、ふとのぞいた上村商店で、店主の「がみババー」につかまった。ばあちゃんと仲のよかったがみババが言うには、ばあちゃんはだれかが家の台所をしようになる日を待ってたらしい。料理修行して、おれがばあちゃんの台所を受け継いでやる。

